

相澤病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

| | |
|---------------------------------|---|
| 研究課題名 (研究番号) | 当院における慢性硬膜下血腫術後患者の早期退院に関する因子の検証 (承認 No. 2025-063) |
| 当院の研究責任者 (所属・職名・氏名) | 脳卒中脳神経リハ科 理学療法士 宮下隆滉 |
| 他の研究機関および 各施設の研究責任者 | なし |
| 本研究の目的 | 慢性硬膜下血腫は、超高齢化社会を迎え、世界的にも本邦においても外科的治療が増加している代表的な疾患です。本邦では医療機関の機能分化が進み、在院日数の短縮化が求められており、急性期病院では早期に自宅退院を支援すべきか回復期病棟・病院や療養型施設への支援をすべきか判断する必要があります。 慢性硬膜下血腫の治療予後は一般的に良好である場合が多いとされているものの、運動機能や認知機能低下の残存や退院後の自宅での支援体制の不足など様々な要因から、医療スタッフとして早期の方針決定に難渋する場面を経験する事は少なくありません。 そこで、本研究では慢性硬膜下血腫患者における早期自宅退院の判断因子を明確にすることを目的としています。 |
| 調査データ 該当期間 | 2022 年 1 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの情報を調査対象とします |
| 研究の方法 (使用する試料等) | ●対象となる患者さん 上記期間内に当院に入院し、慢性硬膜下血腫に対して穿頭血腫除去術を施行され、脳神経外科・内科に入院した方 ●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録 ●研究期間：2025 年 10 月 7 日～ 2025 年 12 月 31 日 |
| 試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法 | 他の機関への試料・情報の提供はありません |
| 個人情報の取り扱い | 利用する情報から個人の氏名、生年月日、電話番号、また診療情報等、個人を識別できる情報などの個人情報を削除して患者さんを直接特定できる情報は削除致します。また、研究成果は学会・論文等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。 |
| 本研究の資金源 (利益相反) | 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません |
| お問い合わせ先 | 相澤病院 脳卒中脳神経リハ科 理学療法士 宮下隆滉 Tel : 0263-33-8600(代表) |
| 備考 | |